

「新宿区高齢者の保健と福祉に関する調査」調査票の主な変更点について

1. 一般高齢者調査、要支援・要介護認定者調査、第2号被保険者調査 の区民向け3調査 (7月22日推進協議会時の案からの変更箇所)

(1) 区民向け3調査共通

設問番号	ご意見	修正内容
問3 (共通)	—	「お住まいの地域」に誤選択が生じないように、宛名ラベルのイメージを記載した。
一般(基本): 問39~41 要支援・要介護: 問40~42 2号:問42~44	—	「高齢者総合相談センターの認知度」(名称、機能、場所)の下に記載されていたイメージキャラクターの説明を、高齢者総合相談センター自体の説明に変更した。
すべての表記	—	枝設問に進む場合、「～と回答した方」を「～を選んだ方」に変更した。

(2) 一般高齢者【基本】調査

設問番号	ご意見	修正内容
旧問6	—	「あなたは現在収入のある仕事をしていますか。」の問いは、次の設問(収入の種類)で、選択肢1「仕事による収入」を選ぶことと同義のため、旧問6を削除した。
問8	「今後の就労意向」について、仕事をしたくてもできない場合もあるので、その理由を聞いてはどうか。	選択肢に「働きたいが、できない」を加えた。
問19	選択肢6に「2kg程度」とあるが、どういうイメージか記載したほうがよい。	1リットルの牛乳パック2本程度を持ち帰るイメージで設定されているため、そのように修正した。
問27	「友人、知人と会う頻度」について、同居の親族なども含むのか。	同居の親族は含まない旨を明示した。
問28、29	—	「違う世代との交流」、「地域のつながり」について、選択漏れが生じないように、それぞれに「どれか1つに○」と補記した。

◆その他文言修正等【問13、15、19、24、32、33、34、41】

(3) 一般高齢者【重点】調査

設問番号	ご意見	修正内容
問18	今後のボランティア活動等意向について、問18で「3」または「4」と回答した人に答えてもらったほうがよいのではないかと。	そのように修正した。

問21	「ボランティア活動への対価」で、実費や謝礼、報酬の違いが分かりにくい。また、「くらはいは」と記載されており、選択を誘導することにつながる恐れがある。	誘導にならないよう、表現方法を工夫した。
問30	—	「認知症が早期に発見された場合に必要な支援」について、要支援・要介護認定者調査の問56と整合性を図った。
p. 12	「人生の最終段階（ご自身の死が近い場合）」という表現について。直前になってから考えるのではなく、なるべく早い時期から考えたほうがより良い。「近い」を「近づいた」としてはどうか。	「人生の最終段階（ご自身の死が近い場合）」の記載を、単に「人生の最終段階」と改めるとともに、人生の最終段階における医療を例示した。

◆その他文言修正等【問 22、23、24、35】

(4) 要支援・要介護認定者調査

設問番号	ご意見	修正内容
問7 問27-3	収入層とサービスの利用状況の相関関係を把握するため、収入についての設問を設けたほうがよい。	収入についての設問を再度設けました。 なお、他の区民向け調査では、暮らし向きについての設問でカバーできると判断し、設けていません。 また、サービスの利用についての考え方を問う設問を新設しました。
問14	—	「今後も在宅で暮らし続けるために重要だと思えるもの」について、ケアマネジャー調査の問25変更と併せて修正した。
問16、50	—	「あなたの要介護度」について、事業対象者を誤選択しないよう、表記を変更した。

◆その他文言修正等【問 14、20、28、29、30、37、38、44、57】

(5) 第2号被保険者調査

設問番号	ご意見	修正内容
問10、11	「40代から取り組んだほうがよいこと」について、選択肢6「動物性蛋白質を適量食べること」は良いかどうかわかっていない面もあり、少ないほうがいいというデータもある。明確でないので、削除したほうがいいのか。	選択肢6を削除した。
問45	—	「地域で困っている高齢者を見かけた際の相談先」について問う設問を新設した。
旧問46	—	「健康や福祉サービスに関する情報量が足りているか」を問う設問を削除した。

◆その他文言修正等【問 21、22、24、27、37、38、39】

2. ケアマネジャー調査、介護保険サービス事業所調査、施設等調査 の事業所向け3調査
 (8月31日作業部会時の案からの変更箇所)

(1) ケアマネジャー調査

設問番号	ご意見	修正内容
問13ほか	—	各種連携の状況について、「あなたからみて」という表記を、「ケアマネジャーとして」という記載に変更した。
問15、16	主治医との連携に加え、病院との連携を聞く必要はないだろうか。	「主治医（かかりつけ医・クリニック）」との状況及び課題に加え、「病院」との連携状況及び課題を問う設問を追加した。
問20	—	「新宿区内の在宅医療・介護連携を推進するために必要なこと」を問う設問を新設し、ICTの活用についての選択肢を設けた。
p.7	在宅医療に関する相談窓口という意味であれば、見出しは、「在宅医療に関する対応について」のほうがよいのでは。	見出し「在宅療養に関する対応について」を「在宅医療に関する対応について」と変更した。
問22	—	病院との連携について、退院時だけではなく入院中の連携についても問う設問に変更した。
問25	「介護や医療が必要になっても高齢者が在宅で暮らし続けるために必要なこと」について、選択肢6「体の状態を維持改善できるサービス」では範囲が広過ぎるので、明確に記載したほうがよい。	「訪問・通所リハビリテーションなどのリハビリテーション施設」との記載に変更した。

◆その他文言修正等【問3、14、16、18、27、33】

(2) 介護保険サービス事業所調査

設問番号	ご意見	修正内容
問8	—	「事業所で取り扱っているサービス」について、取り扱っているサービスを選択することを強調した。
問11	—	介護予防・生活支援サービス事業について問う設問を新設した。
問16	—	「介護職員のスキルアップのために必要な実習・研修」について、医療系だけではなく福祉系の選択肢も追加した。

問26	—	「事業所で今後実施したい、地域と関わる活動」について、「地域包括ケアの担い手として行いたいと考えている活動」を記載できるよう、自由記述欄を追加した。
-----	---	--

◆その他文言修正等【問 9、13、26】

(3) 施設等調査

設問番号	ご意見	修正内容
問3	職員体制を記載する表について、非常勤は、常勤換算で書くのか、実数で書くのかの記載があったほうがいい。	「実人員」と明記した。
問5	施設では、利用者の尊厳保持が大事である。確認の意味も含め、そのような設問があってもいいのではないか。	「施設での取り組みについて」という分野を設け、利用者の尊厳保持のために行っていることについての設問を新設した。 なお、防犯については、別途調査を行うことが予想されることから、設問を設けなかった。
問10	認知症の「BPSD」は、「行動・心理症状」とも訳する。	「行動・心理症状」と変更した。
旧問17	「医療機関との取り交わし」は、設問として必要か。	設問を削除した。
問20	看取りで、吸引や酸素点滴の実施を、施設内でできるかどうかが問題としてある。そのことを聞けないか。	「人生の最終段階における医療及びケアを行う上での課題」について、「医療行為の対応が難しい」との選択肢を追加した。

◆その他文言修正等【問 21】